

# ナス



学名 *Solanum melongena* L.  
和名 ナス  
英名 Egg Plant, Aubergine  
原産地/生育地 インド東部  
植物分類 ナス科ナス属  
発芽適温 25~30℃  
生育適温 20~30℃

ナスは栄養面で特記すべきものではありませんが、食物繊維は多く含まれています。果皮の紫色は「ナスニン」と呼ばれる色素で、ポリフェノール類に属します。用途は煮物、焼ナス、天ぷら、炒め物、漬物などと広く、たいへん便利な食材です。特に油によくあうので、揚げ物や炒め物に向いています。

高温性の野菜で、夏の暑さにもよく耐え、雨にも比較的強く作りやすい野菜です。土壌水分が多く、耕土の深い、肥沃な畑が適します。日当たりのよい場所を好み、日照時間が長く、日射量が多いほど収量も多くなります。「ナスは水で育つ」といわれるくらいで、水が不足すると、生育が悪くなって収量が上がらないだけでなく、果実のツヤがなくなり、ハダニ類の被害が多くなります。なお、ナスは連作を特に嫌う野菜ですので、ナス、トマト、ピーマンなどのナス科野菜を3~4年は栽培していない畑を選びましょう。

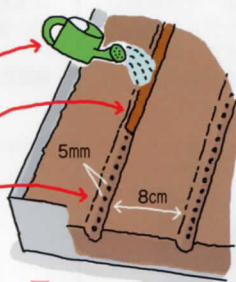
**【品種選び】** ナスの大きさには大長、大丸、卵形から小丸まであり、果形も長形、中長形、卵形、丸形などがあり、多彩です。大長ナスで大きいものは40~50cmにもなるものがあります。皮の色も濃い紫色だけでなく、白や緑もあり、結構変化に富んでいます。また、地方品種も多いので、それらを栽培してみるもの楽しみでしょう。

## 1 タネまき~育苗管理

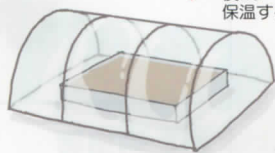
箱に育苗土を入れ、深さ1cmの溝を8cm間隔で作ります。タネを5mm間隔にまきます。5mmほど覆土し、水やり後、箱を保温(夜25~昼30℃)します。発芽後は夜温を20℃くらいに保ち、本葉2枚になったら12~15cmポットに移植して夜温15℃程度で管理しながら本葉7~8枚の定植苗まで育てます。

### ●タネまき

1. 深さ1cmほどの溝を作り、タネをスジまきする
2. 5mmほどの深さに覆土する
3. 水やりする



夜25~昼30℃で保温する



5~7日で発芽する

### ●発芽後

夜温20℃で管理

↓  
込んだら1~2cm間隙に間引く

↓  
本葉2枚時に12~15cmポットに移植する

↓  
夜温15℃で管理する

↓  
定植苗



咲き始めている1番花

本葉7~8枚(タネまきから60~80日)

### POINT 順調な育苗には適温確保を!

発芽適温を保てば5~7日ほどで発芽します。タネまきから60~80日で定植適期苗になります。保温が困難な場合や畑に土壤病害が出る恐れがある時などは、接ぎ木苗を購入した方がよいでしょう。

## 2 畑作り～定植

定植2週間以上前に石灰を散布して耕し、1週間前に堆肥、元肥を施して再度耕します。畝作りは定植2～3日前に行い、地温を上げるために黒色ポリマルチをします。定植は根鉢が畝面より2～3cm高くなるよう浅植えし、支柱を立て誘引します。害虫防除のため浸透移行性殺虫剤を株元に1株につき2gほど散布します。

### ●定植2週間以上前

- 1.石灰を3握り(約150g)入れる

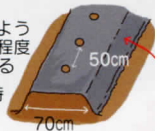


- 2.耕す



### ●畝立て

管理しやすいように畝幅は70cm程度の1条植えとする。乾燥している時は水やりする



### ●定植1週間前

- 1.堆肥を3～4kg入れる



※施肥量はすべて1㎡当たり

- 2.化成肥料を3握り(約150g)、過リン酸石灰を軽く1握り(約30g)入れる



- 3.耕す

## POINT

定植は晩霜の危険が去ってから!

1㎡当たり石灰は3握り(約150g) 堆肥は3～4kg、元肥は化成肥料(N P K=8 8 8)を3握り(約150g) 過リン酸石灰を軽く1握り(約30g)とします。霜に弱いので晩霜の危険がなくなってから定植します。

### ●定植

- 1.苗鉢にたっぷり水を含ませる
- 2.定植する。畝面より2～3cm高く植える



- 5.水やりする
- 4.浸透移行性殺虫剤2g(1株につき)を株元に散布

- 3.支柱を立て誘引するひもを8の字に結ぶ

### ●ミナミキロアザミウマ



## 4 病虫害

害虫はアブラムシ ダニ類、ミナミキロアザミウマなどに注意し、早期に発見して薬剤を散布します。病気では土壌病害の青枯病や半身萎凋病が出たら治せません。抜き取って廃棄してください。

### POINT ダニ類の防除を心掛ける!

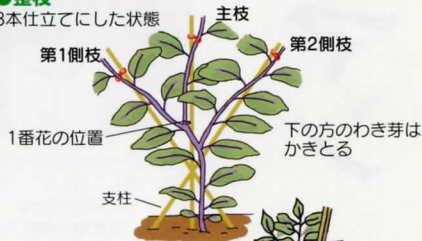
青枯病などの土壌病害が出た畑で再度ナスを栽培する場合は、接ぎ木苗を植えてください。ダニ類の被害は乾燥条件で大きくなるので防除を徹底的に行ってください。

## 3 定植後～収穫の栽培管理

定植後約3週間後に最初の追肥を行い、その後、3週間おきに追肥します。方法は、マルチのすそを上げて肥料を畝の両側の肩部にばらまき、土と混ぜるよう軽く耕してからマルチをもとに戻します。整枝は1番花の下から勢いよく出た側枝を2本残し、主枝1本との3本仕立てにします。

### ●整枝

3本仕立てにした状態



### ●追肥方法

- 1.マルチをまくる
- 2.化成肥料を肩部片側2m(4株分)に1握り(約50g)をばらまく
- 3.肥料と土が混ざるように軽く耕す
- 4.マルチを戻す  
※反対側も同じように追肥する

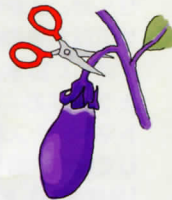


### POINT 水不足・肥切れに注意!

株元近くから出た枝や、主枝 側枝につくわき芽は取り除きます。追肥は1回4株当たり化成肥料を1握り(約50g)とします。残す側枝にも必ず支柱をします。夏、枝が込み合ってきたら、枝を切り戻してもよいでしょう。

## 5 収穫

開花後15～20日前後で収穫できます。1～3番果や多く着果した時は若どりして 株の負担を軽くすると、その後の生育や着果がよくなります。朝、涼いうちに収穫するともちがよくなります。



### POINT 鮮度を保つには…

果実は蒸散作用が盛んです。収穫後はできるだけ早く 新聞紙かラップにきっちり包み、日陰で保存してください。

ナスの枝は折れやすいのでハサミで切って収穫する

## 栽培暦

各栽培地の upper段は寒い地域、下段は暖かい地域の栽培暦です



サカタのタネ

失敗しない  
野菜栽培からの引用